

科学の独立性 国の利益



こぬま・みちじ 1931年東京生まれ。東京大学大学院修了。理学博士。物理学。現在、世界平和アピール七人委員会委員など。元日本学術会議原子核特別委員会委員長、日本物理学会会長など。最近の著編書に『湯川秀樹日記1945』など。

小沼通二（慶応義塾大学名誉教授 物理学）
日本パグウォッシュ会議諮問委員

戦時中の1943年8月20日に閣議決定で「科学研究は大東亜戦争の遂行を唯一絶対の目標として強力にこれを推進する」「学術研究会議を強化活用して・・・研究機関および研究者を計画的に動員する」とされました。

この決定を受けて、日本学術会議の前身である「学術研究会議」の会員は、それまで「学術研究会議の推薦に基づき」内閣が任命していた制度から推薦なしの内閣任命制度に変更され、会長・副会長も会員の互選から内閣による任命制に変わりました。

政府の一機関に

そして科学研究動員委員会が設置され、「国民総武装兵器」「非常事態食料」などの研究特別委員会がつくられたのでした。

学術研究会議は1920年に文部省の管理下につくられた機関でした。43年8月の閣議決定を契機に独立性は完全に失われ、研究者の代表ではなく、科学の戦争動員のための政府の一機関となってしまったのでした。

このときに、49年に日本で初めてノーベル賞を受賞した物理学者の湯川秀樹がどのように考え行動したかについて、私は『湯川秀樹の戦争と平和』の中に詳しく書きました。

湯川は44年からウランの軍事利用や熱線吸着爆弾の研究に加わりました。戦後、戦争協力を反省し、最晩年まで核兵器廃絶・戦争廃絶を訴え続けました。科学が人類を絶滅させる手段となってはならないとしたのです。

日本学術会議は49年、それまでの科学者の態度の反省を踏まえ、政府から独立して、科学の向上発達を図り、行政、産業、国民生活に科学を反映浸透させることを目的にして発足しました。

自民党は、会員の科学者による選挙制の1983年の廃止、2005年の学会推薦の廃止など、くり返し会員の選出方法に口を出してきました。学術会議が「独立して職務を行う」とされたことの意味と貴重さが理解されていないのです。

民主主義の破壊

今回は菅首相が学術会議の推薦候補6人の任命を拒否し、その理由の説明をも拒否しています。安倍政権以来の、異論を認めず風化させようとする民主主義破壊のあらわれです。どんな命令にも理由も聞かず黙って従えというなら、社会は萎縮し、全体主義国家に向かいかねません。

政府は学界を支援するが支配しないのが、結局、国民にも政府にもプラスになるのです。そしてそれが今に至る世界の流れです。

聞き手・中祖寅一

(「閣議決定」資料2面)

しんぶん赤旗 電子版 発言2021年1月25日【1面】

1943年8月20日の閣議決定 学術の戦争動員を決定(1面資料)

科学研究の緊急整備方策要領 昭和18年8月20日 閣議決定

2021年1月25日【2面】

大学、その他の科学研究機関における研究力を、急ぎ最高度に集中発揮せしめ、その飛躍的向上を図り、戦力のすみやかなる増強を計るため、これが体制整備の必要あり。

よってこれら研究機関における科学研究は、大東亜戦争の遂行を唯一絶対の目標として、強力にこれを推進するとともに、学術研究会議を強化活用して学理研究力を最高度に集中発揮せしめ、なかんずく直接戦力の増強に資する研究に関しては、関係方面との緊密なる協力体制をとり、また直接戦力増強と密接不可分なる基礎的研究に関しては、各種研究機関独自の性格および機能を最高度に発揮せしむべく、これがためには、その関係研究機関および研究者を計画的に動員するものとす。

また、大学その他科学研究機関の内容および組織については、前記の計画を完全に遂行しうる様、これが重点的整備拡充を図るとともに、科学研究要員の確保ならびに、必要資材および研究費の充実確保を図るものとす。

以上の目途に基き左の措置を講ず。

一 学術研究会議の機構を整備強化するとともに、これに科学研究動員に関する特別委員会を設置し、また大学その他重要研究機関には、それぞれこれと連絡ある委員会を設置せしめ、文部省においては両者を活用して学理研究力の集中発揮にあたり、かつ科学の飛躍的向上に必要な行政的措置を行うこと。

二 科学研究要員の充実を図るとともに、大学および専門学校の卒業生にして緊要なる研究に従事すべき者を優先的に配当し、また研究要員の急速なる増加養成を図り、専心研究に従事せしむるため研究要員の待遇につき、所要の改善を考慮すること。

三 科学研究用資材については、所要の数量を優先確保するとともに、これが重点的配分を行うなど必要なる措置を講ずること。

(現代仮名づかいに改め、句読点を補いました)

しんぶん赤旗  2021年1月25日【2面】